

鳥取県

学校給食会だより



1月号 (No.195)

(公財) 鳥取県学校給食会
鳥取市安長字前内387-1
(TEL) 0857-23-7084
(FAX) 0857-27-8040
HPアドレス: <http://www.togk.or.jp>
E-mail: kenkyu@togk.or.jp

平成30年1月25日 文責: 佐竹香寿代

HPアドレス: <http://www.togk.or.jp> E-mail: kenkyu@togk.or.jp

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。昨年は、関係者の皆様方のお力添えのもと公益財団法人として円滑に業務を遂行することができましたこと感謝いたします。また、日頃から本会の活動に対し、温かいご支援、ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。



本会は、学校給食支援事業として「学校給食用物資の安定供給事業・安全確保事業」「学校給食の普及充実と食育支援に関する事業」を柱に運営しております。購入計画に基づく物資の安定供給と関係工場の衛生管理徹底等による物資の安全確保に加え、地場産物の開発・提供、各種講習会の開催、情報提供等を通して、学校給食の普及充実を支援して参ります。さらに、学校給食を「生きた教材」として活用した食育が推進されますよう、本年も引き続き各種事業に取り組んで参ります。

職員一同、県内の児童生徒の心身の健全な発達のため、安全安心で栄養バランスのとれた学校給食の提供と、食育の更なる充実に向けて取り組んで参りますので、今後も変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

食育推進啓発資料の配布について

この度、鳥取県教育委員会より「食育推進事業」を受託し、食に関する指導充実のため、ジビエに関する啓発資料を作成いたしました。鳥取県教育委員会監修のもと、鳥取県東部振興監東部振興課、いなばのジビエ推進協議会、鳥取県学校栄養士協議会の関係者の方にご協力いただきました。

このジビエに関するパンフレットは、各地教委を通じて管轄の小中学校へ配布していただいております。予備もございますので、追加等がございましたら本会までご連絡ください。

また、このパンフレットは本会ホームページからも印刷していただけますので、是非ご利用ください。



1月24日から30日は全国学校給食週間です!

全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割について児童生徒や教職員、保護者、地域住民の理解と関心を深めるための週間とされています。ここで学校給食の歴史を簡単にご紹介させていただきます。

年代	写真	学校給食の歴史	献立
明治		日本で最初の給食。明治22年に山形県の忠愛小学校でされたもの。	おにぎり 焼き魚 つけもの
昭和17年 (戦争中)		昭和初期は戦争がはじまり、給食のメニューは、すいとんの味噌汁だけになる。戦争が激しくなると、学校に通うことができなくなり、給食もなくなる。	みそ汁
昭和22年		全国都市の児童約300万人に対し給食を開始。脱脂粉乳の給食を実施する。	脱脂粉乳 トマトシチュー
昭和25年 (戦後)		海外から脱脂粉乳や缶詰が日本に届けられ、学校給食が再開する。この頃のおかずは、アメリカからの物資がたくさん使われていた。	コッペパン・脱脂粉乳 ポタージュスープ コロッケ せんキャベツ マーガリン
昭和27年代		日本では鯨肉(くじら肉)が貴重なたんぱく源のひとつ。鯨肉の竜田揚げは給食でも人気メニューだった。	コッペパン、脱脂粉乳 鯨肉の竜田揚げ せんキャベツ、ジャム
昭和40年代		この頃になると、学校給食に牛乳が登場する。主食は主にパンか麺類。	ミートスパゲティ、 牛乳、フレンチサラダ プリン
昭和50年代		パンか麺だけだった給食にご飯が加わり、メニューの種類が増え始めます。この頃から、学校給食でカレーも食べられるようになった。	ごはん、牛乳 がめ煮(郷土食) ヨーグルトサラダ チーズ
平成		セレクト給食や手作りデザート、世界の料理、バイキング給食等、いろいろな給食が食べられるようになった。	おにぎり、パン から揚げ、和え物 果物等のバイキング

現在、学校給食は「生きた教材」といわれ教育の一環として実施されています。しかし、戦後の学校給食の開始は、食糧不足で発育が停滞した児童のために実施されたものでした。その後、日本は高度経済成長を経て飽食の時代へと進み、学校給食の食事内容も変化していきました。給食の歴史を振り返ってみても、時代の流れにそってずいぶんと食生活が変化しているのが良くわかります。